

阿波おどりは人々を笑顔にし、幸せにする

本年4月より病院長補佐（経営戦略・企画担当）を拝命いたしました、消化器内科の高山哲治と申します。「経営戦略・企画担当補佐」としては前病院長の時代から引き続き任を預かり、これまでジェネリック医薬品やバイオシミラーの導入などに取り組んでまいりました。近年、国公立大学病院の半数以上が赤字経営となる中で、患者さんにとって快適で高度な医療を提供できる病院であり続けながら、いかに健全な経営を維持・改善していくかを常に考えております。また、職員の皆さんが安心して快適に働ける環境づくりも重要と考え、病院長、副病院長を支えながら尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

ところで、私自身も60歳を超え、学会を主催する機会が増えてまいりました。今年3月6日～8日には神戸コンベンションセンターにて日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO 2025）を開催させていただきました。消化器、呼吸器、血液、耳鼻科、泌尿器、乳腺、婦人科、緩和ケア、多職種領域など幅広い分野が集い、徳島大学の先生方、薬剤師、看護師の皆さんにも大変お世話になりました。どの学会でも来賓の先生を招いて懇親会を開きますが、徳島の「阿波おどり」を披露すると、国内外を問わず皆さんに大変喜んでいただけます。3月6日（木）の懇親会では「娯茶平」に神戸までお越しいただき、英語の解説付きで踊っていただき、来賓の先生方にも大いに楽しんでいただきました。翌3月7日（金）には会場近くの市民広場で「ナイトピクニック」を開催し、そこでも多くの方が阿波おどりを見て、共に踊り、心から楽しんでいただきました。外国からの参加者も、日本全国から集まった方々も、皆一つになって踊り、終了後も「阿波おどりは本当に素晴らしかった」と多くの声をいただきました。

さらに、今月8月15日（金）の徳島市阿波おどりは、消化器内科（と旧第2内科）の連「徳式連」として参加し、今年も元気いっぱいに踊ることができました。

病院長補佐（経営戦略・企画担当） 高山 哲治



日本臨床腫瘍学会学術集会の懇親会（2025年3月6日）
娯茶平 に出演して頂き、参加者全員で踊る様子



消化器内科の連「徳式連」で徳島市阿波おどりに参加
（2025年8月15日、南内町演舞場）



日本臨床腫瘍学会学術集会第2日目の
ナイトピクニック
（2025年3月7日、神戸市民広場）



**矯正歯科 助教 花輪 茂己**

令和7年4月より、矯正歯科助教として採用となりました花輪茂己です。出身は山梨県ですが、学部、研修医、大学院の計11年間で徳島大学と徳島大学病院で過ごし、すっかり徳島に馴染んでいます。現在は、歯並びやかみ合わせを整える矯正歯科治療をはじめ、骨補填材に関する研究や学生への教育にも携わっています。

矯正歯科治療は、お子さんから年配の方まで幅広く対象となり、適切な診査・診断のもとで様々な装置を用いて、顎の成長や歯並び、かみ合わせを審美的・機能的に正常なものへ導いていく治療です。治療を終えた患者さんがきれいな歯並びで笑顔を見せてくださる瞬間が何よりの喜びです。

休日は妻と一緒に旅行やダイビングを楽しみながら、心身ともにリフレッシュしています。

今後も患者さまに寄り添い、最善の治療を提供できるよう一層研鑽を重ねてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

精神科・神経科 医員 野田 尚吾

令和7年4月より徳島大学精神科・神経科に勤務させていただいております野田尚吾と申します。徳島大学を卒業後、これまで徳島大学病院や徳島県立中央病院で勤務しておりました。精神科では日々、外来診療や入院の診療を行っております。

休日は以前まではインドアだったのですが、最近は旅行に出かけたりもしております。最近テレビで観たのですがこれまでと違った体験をすることで時間を長く感じるとのこと、確かに初めて行く土地などでは、休日を長く感じられ、リフレッシュもできるので、旅行もいいものだなと実感しております。

ストレスの多い現代社会で生きづらさを抱えてらっしゃる方も増えているのではないかと思います。少しでも患者さんの助けになれるようにということを目指しこれからも診療に励んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

**医療技術部 臨床検査部門 超音波センター
臨床検査技師 野中 蓮**

令和7年4月より 医療技術部 臨床検査部門 超音波センター に配属となりました、野中蓮と申します。超音波センターでは、外来・入院中の患者さんを対象に、さまざまな領域の超音波検査を行っています。

趣味はゲームで、幼い頃から兄と一緒に楽しんできました。特にアクション系が好きで、非日常の世界観やストーリーの中で新たな価値観に触れられる点に魅力を感じています。新しい環境に緊張もありますが、一日も早く業務に慣れ、仕事と趣味の両立ができるようになりたいです。

まだまだ未熟ではありますが、診断の一助となれるよう、正確で質の高い検査を心がけ努力を重ねていきたいと思っています。信頼される臨床検査技師を目指して、一步一步着実に成長してまいりますので、今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**内分泌・代謝内科 医員 一木 菜緒**

令和7年度より徳島大学病院内分泌・代謝内科で勤務している一木菜緒と申します。徳島出身で、徳島大学を卒業後、初期研修と後期研修1年目の計3年間は徳島赤十字病院で勤務していましたが、後期研修2年目である本年度から徳島大学病院へ異動となりました。母校である当院で働くことができ、非常に嬉しく思っております。

現在は主に糖尿病の血糖管理入院、様々な内分泌疾患の精査入院などを受け持ちながら、他科入院中の患者様の血糖管理等を共診させていただいています。まだまだ未熟で、勉強不足を痛感することもあります。多くの先生方のご指導をいただきつつ、日々診療に取り組んでいます。今後も患者様とのコミュニケーションを大切に、患者様に寄り添った全人的医療を提供できるように努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

現在、主に糖尿病の血糖管理入院、様々な内分泌疾患の精査入院などを受け持ちながら、他科入院中の患者様の血糖管理等を共診させていただいています。まだまだ未熟で、勉強不足を痛感することもあります。多くの先生方のご指導をいただきつつ、日々診療に取り組んでいます。今後も患者様とのコミュニケーションを大切に、患者様に寄り添った全人的医療を提供できるように努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

**麻酔科 医員 三倉 健太**

令和7年度より徳島大学麻酔科で勤務させていただいております、三倉健太と申します。

徳島育ち徳島大学出身でラグビー部に所属していました。大学を卒業後、徳島県立中央病院で2年間初期臨床研修をしておりました。

麻酔科では手術室で主に全身麻酔や鎮静下での手術において麻酔管理を行っています。また、症例ごとに術前術後の診察と毎朝症例カンファレンスを行っています。指導医の先生方のもと日々多くを学び、患者様に快適で安全な麻酔ができるように研鑽しております。

休日は、旅行に出かけたり、好きなスポーツを観戦したりしてリフレッシュしています。

まだまだ未熟な部分も多くありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

西病棟8階 看護師 四宮 賢志朗

令和7年4月に入職し、西病棟8階へ配属となりました、四宮賢志朗と申します。当病棟は、主に耳鼻咽喉科と泌尿器科の診療科からなる混合病棟です。

入職してから3か月ほど経ちましたが、医師からの指示を正確に受けることや安全な看護ケアの提供を心がけて、患者さんが安心して治療を受けられるよう日々努力しております。まだまだ分からないことがたくさんありますが、業務を通して必要な知識や技術を身に付け、患者さんの状態を的確にとらえ、アセスメントができる看護師になることが目標です。

大学時代には軽音楽部でドラムを担当しており、現在も休日にはスタジオなどに行きドラムの演奏を楽しんでいます。

社会人1年目として未熟な点や至らない点がありますが、患者さんに寄り添い、患者さんを第一に考えた看護が提供できるよう一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。